

よい町

2025.12
No.217



写真は黒川小学校1年生の様子

第3回定例会・第5回臨時会・第6回臨時会の審議結果

○主な審議結果 P 2～4

- ・教育委員会委員を任命同意
- ・令和6年度各会計決算を特別委員会に付託
- ・余市町下水道条例の一部改正案など5件の条例改正案を可決
- ・義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める要望意見書を可決

○各常任委員会・議会運営委員会委員の選任 P 5

○常任委員会の動き P 7～8

○一般質問 P 9～13

- ・8議員が町政全般について14項目を質問

□義務教育の機会均等の確保と
教育予算の確保・拡充を求める要望意見書

義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める要望意見書（提出者…土屋奈子議員、賛成者…山本正行議員、尾森加奈恵議員、川内谷幸恵議員）について討論（賛成討論1名…ジャストミートある議員）がなされました。

□安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める要望意見書

安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める要望意見書（提案者…土屋奈子議員、賛成者…山本正行議員、尾森加奈恵議員、川内谷幸恵議員）について討論（賛成討論1名…ジャストミートある議員）がなされました。

要望意見書の審議結果

第3回定例会で提出のあった意見案についてお知らせします。

件 名	議案の提出者	審議結果	意見書の提出先
義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める要望意見書	土屋美奈子議員ほか3名	原案可決	内閣総理大臣ほか関係大臣 衆議院議長・参議院議長
安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める要望意見書	土屋美奈子議員ほか3名	否 決	

※全会派の同意が得られた要望意見書は議会運営委員会の委員が提出者となっています。

図書館で会議録や委員会記録が閲覧できます

議会だよりは一般質問や審議結果などを分かりやすくお伝えするため、内容を要約して掲載しています。

より詳しい内容をお知りになりたい方は、図書館に備え付けの会議録をご利用ください。



常任委員会・議会運営委員会の構成

議会議員の任期は4年ですが、本町の常任委員会等の委員の任期は条例で2年となっており、第5回臨時会（8月25日開催）で各委員が選任され、8月29日開催の第1回の各委員会並びに9月10日開催の第2回議会運営委員会で正副委員長の互選が行われました。

また、正副委員長の互選に伴い、議会選出の人事が一部変更となりました。

総務産建常任委員会

委員長	山本	正行
副委員長	茅根	英昭
委員	中井	寿夫
委員	川内谷	幸恵
委員	土屋	美奈子
委員	大物	翔
委員	白川	栄美子

民生教育常任委員会

委員長	庄巖	龍
副委員長	森	加奈恵
委員	岸本	好且
委員	佐藤	剛司
委員	内海	富美子
委員	ジャストミートある	
委員	寺田	進

議会運営委員会

委員長	茅根	英昭
副委員長	寺田	進行
委員	山本	正行
委員	佐藤	剛司
委員	内海	富美子
委員	川内谷	幸恵
委員	土屋	美奈子

議会選出の各種人事

後志教育研修センター組合議会議員

(新)	庄巖	龍
(旧)	茅根	英昭

議会を傍聴してみませんか

《次の定例会は12月上旬に開催の予定です。》

◆本会議は、役場3階の議会事務局で、傍聴人受付簿に住所・氏名を記入するだけで傍聴できます。

傍聴定員は38人となっており、会議当日の先着順となっています。

◆常任委員会や特別委員会については、委員長の許可を得なければ傍聴できないことになっていますが、プライバシーに関わる審議などと特別の事情がない限り傍聴を認めています。

※詳しい日程などは、議会ホームページをご覧になるか、議会事務局（TEL21-2132）へお問い合わせください。

議案に対する各議員の賛否一覧

各議員の賛否結果が分かれた案件（欠席・退席含む）を掲載しています。

第5回臨時会 議案に対する各議員の賛否一覧表

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席

件名	審議結果	明政会						よいち未来				公明党		会派に属さない議員 あジヤストミート たミートる	大物 翔
		佐藤剛司	内海富美子	庄巖龍	中井寿夫	伊藤正明	茅根英昭	山本正行	尾森加奈恵	岸本好且	川内谷幸恵	土屋美奈子	白川栄美子	寺田進	
専決処分の報告について	了承	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
専決処分事項の承認を求めるについて（令和7年余市町一般会計補正予算（第2号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
専決処分の報告について	了承	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
専決処分事項の承認を求めるについて（令和7年余市町一般会計補正予算（第3号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
令和7年度余市町一般会計補正予算（第4号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
令和7年度余市町水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○

第6回臨時会 議案に対する各議員の賛否一覧表

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席

件名	審議結果	明政会						よいち未来				公明党		会派に属さない議員 あジヤストミート たミートる	大物 翔
		佐藤剛司	内海富美子	庄巖龍	中井寿夫	茅根英昭	山本正行	尾森加奈恵	岸本好且	川内谷幸恵	土屋美奈子	白川栄美子	寺田進		
令和7年度余市町一般会計補正予算（第6号）	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約締結事項の変更について（令和7年度町営住宅黒川団地外壁改修工事（東棟））	原案可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度一般会計歳入歳出決算認定について	決算特委設置付託	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度余市町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度余市町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度余市町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○

※藤野博三議長は採決には加わりません。

常任委員会の動き

（総務産建常任委員会）

閉会中における各常任委員会の活動状況について、主要な調査事項などをお知らせします。各常任委員会の記録は、町立図書館に配置しておりますので、ご利用ください。

農作物の作況について調査を行いました。

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 〔第2回〕
（令和7年8月19日開催） | | 告書について | ○余市町職員の育児休業等に関する条例及び余市町職員の勤務時間及び休日休暇に関する条例の一部改正について |
| ○「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に係る令和6年度余市町財政健全化判断比率の状況について（所管事務） | | ○第57回北海ソーラン祭り実施結果について | ○第57回北海ソーラン祭り実施結果について |
| ○令和6年度の財政健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）について、それぞれの比率、算出根拠等の説明を受け、審議しました。 | | ○余市川浄水場中央監視設備更新工事について | ○余市川浄水場中央監視設備更新工事について |
| 〔第2回〕
（令和7年9月3日開催） | | ○農作物の作況について（所管事務） | ○農作物の作況について（所管事務） |
| ○余市町デマンド交通の運行について（所管事務） | | ○今年度の農作物の作況について | ○今年度の農作物の作況について |
| ○令和7年11月から本格運行を開始、運行地域は区会単位によるものとし、運行便数は運行地域ごとに午前の便と午後の便で1日2往復を予定しており、利用料は大人300円、小学生150円、小学生未満は無料であるとの説明を受け、審議しました。 | | ○ブドウ、ミニトマト、ささげなどの園地を現地調査の上、生育状況について説明を受け、審議しました。 | ○ブドウ、ミニトマト、ささげなどの園地を現地調査の上、生育状況について説明を受け、審議しました。 |
| 〔他 の 審 議 案 件〕
（所管事務） | | ○道の駅再編整備について（所管事務） | ○道の駅再編整備について（所管事務） |
| ○余市町地域防災計画の修正について | | ○令和7年度北海道原子力防災総合訓練について（所管事務） | ○令和7年度北海道原子力防災総合訓練について（所管事務） |
| 〔報告案件〕 | | ○北海道や関係市町村、防災関係団体が協力して原子力防災対策を円滑に実施できるよう、北海道南西沖を震源とする最大震度6強の地震が発生し、泊村、共和町を中心には被害が発生する中、 | ○北海道や関係市町村、防災関係団体が協力して原子力防災対策を円滑に実施できるよう、北海道南西沖を震源とする最大震度6強の地震が発生し、泊村、共和町を中心には被害が発生する中、 |
| ○フィッシュチャリーナ内の船舶下架作業時における船舶装備品損失について | | ○泊発電所3号機において、警戒事態となり、P A Z内住民避難要請及びU P Z内屋内退避要請があつた後、O I L 2の超過が確認され、U P Z内住民についての一時移転を開始する事態を想定した訓練を実施する旨の説明を受け、審議しました。 | ○泊発電所3号機において、警戒事態となり、P A Z内住民避難要請及びU P Z内屋内退避要請があつた後、O I L 2の超過が確認され、U P Z内住民についての一時移転を開始する事態を想定した訓練を実施する旨の説明を受け、審議しました。 |
| 〔他 の 審 議 案 件〕
（報告案件） | | ○余市町公共下水道事業経営戦 | ○余市町除雪計画について（所管事務） |
| ○農業次世代人材投資事業補助金の返還について | | ○株式会社まほろば宅地管理公社の解散方針について | ○株式会社まほろば宅地管理公社の解散方針について |
| 〔他 の 審 議 案 件〕
（報告案件） | | ○包括連携協定の締結について | ○包括連携協定の締結について |
| ○余市町公共下水道事業経営戦 | | ○令和6年度漁業生産高について | ○令和6年度漁業生産高について |
| 〔他 の 審 議 案 件〕
（報告案件） | | ○有害鳥獣対策について | ○有害鳥獣対策について |
| 〔他 の 審 議 案 件〕
（報告案件） | | ○第41回味覚の祭典実施結果について | ○第41回味覚の祭典実施結果について |



總務產建常任委員會現地調查

常任委員会の動き

【民生教育常任委員会】

閉会中における各常任委員会の活動状況について、主要な調査事項などをお知らせします。
各常任委員会の記録は、町立図書館に配置しておりますので、ご利用ください。

町立保育所の運営について調査を行いました。

○町営斎場建替事業について
(所管事務)
町営斎場建替敷地造成設計業務並びに町営斎場建築基本設計、実施設計業務の受託業者が決定し、業務を遂行しているが、町営斎場建替敷地造成設計業務において契約内容に一部変更が生じたことから変更内容について説明を受け、審議しました。

○他の審議案件
(所管事務)
○余市町新型インフルエンザ等対策行動計画について
○クリーニングシェルターの指定について
(報告案件)
○令和6年度指定管理者事業報告について

○町立保育所の運営について
(所管事務)
本町では特に潜在的な待機児童が発生しており、現行の体制では十分な受入れが困難であり、町立保育所の受入れ体制をゼロから2歳児に特化する方向で検

【第2回】
(令和7年9月4日開催)

7年10月1日を予定し、対象となる手数料は戸籍証明書、住民票、印鑑証明書、税証明書等、地籍図等であり、対応可能な決済サービスはクレジットカード、電子マネー決済とし、町広報、LINEにより周知し、開始日における職員の研修を実施窓口業務を円滑に進めるとの説明を受け、審議いたしました。

【第3回】
(令和7年9月30日開催)

○個人番号カード電子証明書更新事業について(所管事務)
○町立保育所の運営について(所管事務)
9月19日に子ども・子育て会議を開催し、承認を受けたため

○余市町高齢者ニーズ調査の実施について
(報告案件)
○セロカーボンシティ宣言について
(報告案件)
○周産期医療に関する財政支援について

【環境衛生に関する現地調査】
火葬炉の保管状況について現地調査を実施しました(場所:室蘭市内)。



民生教育常任委員会現地調査

討し、来年度以降は新たに入所される児童について、3歳児以降は町内民間の保育施設へ転園をする形となるとの説明を受け、審議しました。

○戸籍等手数料のキャッシュレス決済の導入について(所管事務)
国策として、2050年までに決済比率を4割程度にすることを目指す目標が掲げられ、将来的にはキャッシュレス比率80%を目指しており、これらの動きに呼応し戸籍等手数料の支払いにキャッシュレス決済を導入することとし、開始日は令和7年10月1日を予定し、受付時間は祝日及び12月29日から1月5日は除く月曜日から金曜日の午前9時から午後5時までで、町民の周知については町広報、町ホームページ等で行う旨の説明を受け、審議しました。

○国民健康保険税について(所管事務)
現行の医療給付金、後期高齢者支援金、介護納付金の3区分が、このたびの改正により子ども・子育て支援納付金が追加される旨の説明を受け、審議しました。

○周産期医療に関する財政支援について

一般質問

第3回定例会での一般質問は、8人の議員から14件の町政全般に対する質問がありました。

一般質問は、一問一答方式により、質問、答弁を合わせ制限時間45分の範囲内で行い、議会だよりに掲載している内容の要約は質問した議員みずからが要約し、その原文を掲載しています。

尾森加奈恵議員
(よいち未来)

新たな道の駅について

質問 尾森議員 新たな道の駅について、次の事項を伺いたい。

①令和7年度は9981万2000円を予算計上し、新たな道の駅用地の整地を進めているが、建設と供用開始の見通しについて。
②令和6年度に3850万円をかけて作成した道の駅再編整備基本設計の内容は公開されているが、公開と活用について。
③現時点での事業手法の方向性について。
④令和4年に公表された基本構想の見直しや修正、住民参画、協働について。
⑤財源確保の方向性について。
⑥現在の道の駅の現状と新たな道の駅が整備されるまでの運営方針、完成後の現在の道の駅の運営継続の考え方について。

答弁 齊藤町長 ①建設時期、供用開始時期ともに未定です。
②道の駅再編整備基本設計の内容については、活用できるところは活用し、可能な情報は公開

していきます。
③④サウンディング型市場調査の結果を受けて必要に応じた事業手法の変更や見直しを予定しております。

⑤可能な限り補助金、交付金を活用して進めるために国の地方創生の支援官3名を任命し様々に隣接し、中心地である立地特性を生かした活用方法を検討します。
⑥ニッカウヰスキー余市蒸溜所

な視点で可能性を模索します。
⑦可能な限り補助金、交付金を活用して進めるために国の地方創生の支援官3名を任命し様々に隣接し、中心地である立地特性を生かした活用方法を検討します。
⑧ニッカウヰスキー余市蒸溜所

おり、客単価向上を目的にマーケティングやブランドディングに取り組んでいただきたいと考えています。

大物 翔議員
(無会派)

泊発電所再稼働に関する本町の姿勢について

質問 大物議員 原発は廃炉こそ取るべき道だが、本町は原発

から10キロ圏外で地元同意を得るために協議体に参加できないにもかかわらず避難計画の策定を求められるのは不合理な事態だが、次の事項を伺いたい。

①この矛盾と不合理をどう考えているのか。

②協議体参加の意思はあるのか。
③再稼働に関する見解と、全町民避難の実効性について。

答弁 齊藤町長 ①②協議体の範囲は事故の影響が予想される自治体を含むべきと考えますが、最終的には国が責任を持つべき

事項であり、このたびは国において北海道と立地4町村に対し地元同意の要請が行われたものと認識しています。

③町民の命と暮らしを守ること

を最優先に国や道と連携し慎重に対応することが必要であり、住民避難については防災訓練を重ね問題解決を図るとともに、課題に対するなど避難の実効性の向上にも努めています。

質問 大物議員 ①②国に任せられるではなく本町が協議体に加わるべきと考えるか。

答弁 齊藤町長 ①②事故の影響が予想される自治体の意見は尊重されるべきであり、国の制度設計では我々の意見を酌み取ってほしいと考えます。

質問 大物議員 ①②住民説明会では再稼働反対の意見が多かつたが町はどう意見を示すのか。

答弁 齊藤町長 ①②この問題は白黒はつきりさせるものではなく、事故の影響が予想される自治体の意見は酌み取つて尊重して欲しいと言い続けることだと考えます。

質問 大物議員 ③現状、避難計画は実行性のあるものができないと胸を張れる状況なのか。

答弁 齊藤町長 ③避難計画は不斷的努力で更新し続けるものだと考えます。

質問 大物議員 ③避難に必要なインフラ整備が遅れており、実効性は確保されていない。

一般質問

な道路整備の要望は支障のないよう常に行っています。

質問 大物議員 ③安全を確保できないのであれば動かすべきではない。

答弁 齊藤町長 ③多様な意見が存在することから、仮に国で動かすのであれば周辺自治体の安全を確保することが大前提です。

④余市町公式ラインを使ったオンライン申請の現状について。

答弁 齊藤町長 ①自治体情報システムの標準化については対象業務のうち本町該当の18業務全てが令和7年度末までに標準拠システムに移行予定であり、ガバメントクラウドについては戸籍、戸籍の附表を除く16業務が標準化と同時にガバメントクラウドに移行します。

②マイナンバーカードの取得数、取得率は令和5年度が1万8008枚、69.2%、令和6年度が1万2379枚、73.4%、令和7年6月末で1万2436枚73.8%であり、マイナ保険証は本町の国民健康保険では、令和5年度が2144件、56.5%、令和6年度が2275件、63.3%、令和7年6月末で2294件、64.2%です。

質問 内海議員 国は各自治体DX推進手順書を令和7年6月にバージョンアップし、各自治体がデジタル化によるメリットを享受できるよう取組を充実化させているが本町の取組について、次の事項を伺いたい。

①標準準拠システムとガバメントクラウドの導入について。

②本町のマイナンバーカードとマイナ保険証の取得数と取得率の推移について。

③文書の電子化や電子決裁の導入など業務効率化の取組の進捗状況について。

④余市町公式ラインを使ったオンライン申請の現状について。

答弁 齊藤町長 ②普及促進によってデジタル化のメリットを享受できる、利便性が向上するといことが重要だと考えます。

質問 内海議員 ②自治体情報システムのオンライン化にはマイナンバーカードの登録が重要だがどのように進めるのか。

答弁 齊藤町長 ②普及促進によってデジタル化のメリットを享受できる、利便性が向上するといことが重要だと考えます。

④余市町公式ラインの利用促進について。

答弁 齊藤町長 需要を見ながら改善できるものはより使いやすいものに改善したいと考えています。

①公式な統計がなく人数は把握していませんが、発達障がいに関する相談実績は令和6年度が61人、令和7年8月末現在は72人です。

②過去2年の就学児童では就学前に支援が必要な子どもはおらず、グレーベンについては特定の診断名や判断基準がないため把握するのは困難です。

③5歳児健診の実施に向けて各自治体への視察や実践的運営方法を学んでいます。

質問 白川議員 ④白老町では今年から5歳児健診を導入しており、1日も早く5歳児健診を導入できる体制をつくついたが、どうが見解について。

答弁 齊藤町長 ④白老町では今年から5歳児健診を導入しており、1日も早く5歳児健診を導入できる体制をつくついたが、どうが見解について。

⑤5歳児健診の実施に向けて各自治体への視察や実践的運営方法を学んでいます。

⑥5歳児健診に必要な基礎的知識を習得するため積極的に活用しています。

⑦5歳児健診ポータルサイトの連携で大体の人数は把握できると思うが、連携は取れているのか。

⑧5歳児健診を導入するにあたっては、会で訴えてきたが、医師や臨床心理士の確保が難しいことや、ポータルサイトは有効なサイトであることから調査研究するとの答弁があつたことから、次の事項を伺いたい。

⑨5歳児健診ポータルサイト(こども家庭庁)

一 般 質 問

ジャストミートあたる議員

(無会派)

田川橋周辺の廃棄船や「ミ・糞便等の環境問題について

質問 ジャストミートあたる議員 町民の方から田川橋周辺の環境が劣悪だと相談があり、現地に赴き視察したところ橋桁の下に廃棄船が数隻確認されたが、このまま放置もしくは行政代執行で撤去する予定か。

答弁 齊藤町長 管理者が北海道なので、余市町も情報を得た時点で北海道に提供し、対応するの北海道になっています。



第57回 北海ソーラン祭り

余市町の人口の動態と現状について

質問 ジャストミートあたる議員 令和2年では国勢調査と住民登録の差は1539世帯に上り、住民登録ベースが約18.6%多いことになり、今年が調査年度となるが、このラグが最大になると思われ、実際は行政を行う上でどのような不都合が顕在化するか。

答弁 齊藤町長 配付系は住基に基づいてやつており、交付率に関しては95%の人に行き渡つており不都合はありません。

クーリングシェルターについて

質問 ジャストミートあたる議員 令和7年7月20日に執行された第27回参議院議員選挙の投票結果の投票数の部分に持ち帰りとあるが、選挙人が投票箱に入れずにそのまま持ち帰ったのか、現場で紛失したのか。

答弁 絹野選挙管理委員会委員長 開票事務において符合しない1票について最終確認を行

い、結果、選挙人が投票用紙を持ち帰ったものと判断し、決定したものです。

つています。

寺田 進議員

(公明党)

リチウム蓄電池等の小型充電式電池の回収について

質問 寺田議員 環境省は家庭から出されるリチウム蓄電池を市町村が回収するよう通知しており、本町の取組について、次の事項を伺いたい。

①町内のリチウム蓄電池の分別収集の取組について。

②火災事故等を未然に防止するためにごみ収集ステーションなどで回収が必要と考えるが、見解について。

③町民への強力な周知公報が必要と考えるが、見解について。

答弁 齊藤町長 ①本町では回収しないごみとなつており、廃棄する場合は一般廃棄物収集運搬許可業者に依頼するか、家電量販店やホームセンターで回収していますが、加熱式たばこ以外のリチウム蓄電池使用商品については町内3か所に設置した小型家電回収ボックスで回収しています。

②町民のニーズに応えるべく調査、検討していきます。

③回収する条件が整つた際は広

一 般 質 問

緊急銃猟について

- ②生徒のニーズを把握し、指導者と場所の継続的確保や北後志管内の広域連携も協議し、少子化の中でも多様な活動機会を維持、創出していきます。
- 質問 佐藤議員 現状と課題について、次の事項を伺いたい。
- ①予防対策について。
 - ②今後の進め方について。
 - ③関係機関との協議について。
- 答弁 齊藤町長 ①ゾーニング管理など専門家のアドバイスに基づきヒグマを町なかに寄せつけない予防対策も並行して調査研究していきます。
- ②緊急銃猟の実施に向けハンターハンターの身分保障や人材確保など多くの課題整理を進めています。
- ③9月に北後志管内でヒグマ出没時の初動対処訓練を実施し、その結果を踏まえ、近日中に有害鳥獣駆除対策協議会を開き、方針を定めます。
- 質問 佐藤議員 ②迅速な運用をお願いしたい。
- 答弁 齊藤町長 ②協議会での決定を踏まえ、地域の理解を得ながら適切に運用方針を定めます。

議会のホームページを開設しています

余市町議会

- 議会の構成
- 今月の議会日程
- 会議の予定
- 会議の結果
- 会議録
- 議会の情報
- 行政視察のご案内
- 議会傍聴について
- 請願等

余市町議会のホームページを随時更新し、会議の予定、審議結果、会議録、議会だよりなど、議会からの情報発信に努めています。

さらなる充実に向けて忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

ご覧になる場合は、余市町公式ホームページの「余市町議会」のバーをクリックしてご覧ください。

<http://www.town.yoichi.hokkaido.jp/gikai/index.html>

余市町議会

検索



よいち町議会だより

№.2 17(年4回発行)
令和7年12月1日発行

発行 余市町議会
編集 総務産建常任委員会



故伊藤正明議員は昭和23年11月25日札幌市でお生まれになり、令和4年から2期にわたり地方自治の振興と住民の福祉の向上、さらには余市町の発展に精魂を傾けてこられました。が9月5日、76歳でござ逝去されました。

伊藤正明議員がご逝去されました

□ 総務産建常任委員会

先進市町村行政視察

総務産建常任委員会では、今後の委員会審査の充実を図るため、岡山県笠岡市で「笠岡ふれあい空港の利活用について」、三重県紀北町で「藻場再生事業について」それぞれ研修を行いました。



議會運營委員會

先進市

議会運営委員会では、今後の委員会審査の充実を図るため、神奈川県寒川町、二宮町で、「議会改革・活性化の取組について」それぞれ研修を行いました。

議会日誌

8月

- 20日 民生教育常任委員会
22日 議會運營委員會
25日 第5回臨時会
29日 各常任委員会・議會運營委員会

9月

- 3日 総務産建常任委員会
 4日 民生教育常任委員会
 10日 議会運営委員会
 11～16日 第3回定例会
 16日 各事業会計決算特別委員会
 26日 総務産建常任委員会
 30日 民生教育常任委員会

10月

- 1日 広島県吳市議会行政視察來訪
 9日 北海道天塙町議会行政視察來訪
 8～10日 議会運営委員会先進地行政視察
 14日 総務産建常任委員会
 16日 福岡県八女市議会行政視察來訪
 17日 北海道女性議員協議会総会
 21～24日 総務産建常任委員会先進地行政視察
 24日 北シリベシ廃棄物処理広域連合議会
 31日 議会運営委員会

11月

- 4日 第6回臨時会
 7日 各事業会計決算特別委員会
 11日 北海道横断自動車道中央要望
 11日 民生教育常任委員会
 12日 全国町村議会議長全国大会
 13日～14日 北後吉町村議会議長会行政視察
 18日 総務産建常任委員会

市街地における発砲は警察官職務執行法及び改正鳥獣保護管理法に基づく緊急銃猟のみ認められていますが、その実施には高いハードルがあり実効性を疑問視する声もあります。

私たち議員も町民の皆さまが安心して暮らせるよう今後も町政に意見を反映し、より安全な地域づくりに努めてまいります。

総務産建常任委員会 委員長 山本 正行

編集後記

〒046-8546 北海道余市郡余市町朝日町26番地

FAX 0135-21-2144
Email: giji.gski@town.yoichi.h